

分子生物学の若手助成に6人

元国立遺伝学研究所所長の富沢純一さん(87)が寄贈した1億5千万円をもとにした「日本分子生物学会若手研究助成 富沢純一・桂子基金」の1回目の助成対象者が決まった。独ビーレフェルト大の植木紀子研究員、

神戸大の大沢志津江研究員、茶谷絵理准教授、甲南大の久原篤講師、お茶の水女子大の佐野浩子特任助教、筑波大の丹羽隆介助教の6人に300万円が贈られる。

富沢さんは「若い時、給料袋を渡して終わり、(妻の桂子さんが)困っていたことに気づかなかった。同じ状況にある若い人をサポートできれば」と話した。

